



MRI～体外装着型デバイスについて～

近年、医療の発展により様々な体外装着型のデバイスが開発・販売されています。基本的にそのようなデバイスは装着したままのMRI検査が**禁忌**となりますので、一体どんな物があるのか、いくつかご紹介させていただきます。

持続グルコース測定器



フリースタイルリブレ

MRI: × (不可) 破損、火傷、誤作動の恐れあり
X線検査: × (不可) 装着したままの検査自体は可能だが、誤作動の恐れあり



Dexcom G6 CGM

その他

- ・ミニメド620G/640G
トランスミッタ ガーディアンコネクト Ipro2
 - ・Dexcom G4 PLUTINUMシステム
- 等
いろいろな種類があります

こちらは糖尿病の方にご使用頂くもので、腕などに取り付ける事で経時的に血糖値の測定をする事が出来るデバイスです。最近ではアプリと連携して携帯でも血糖値が見られる物もあるそうです。

インスリンポンプ

MRI: × (不可) X線検査: × (不可) 破損・誤作動の恐れあり

ミニメド620G
【日本メドトロニック(株)】



パラダイム722
【日本メドトロニック(株)】



TOP-8200
【(株)トップ】



こちらも糖尿病の方にご使用頂くもので、持続的にインスリンを体内に注入する事で血糖値の変動を最小限に抑え糖尿病性合併症のリスクを低減させる事が出来るデバイスです。

インスリンポンプの他にも持続的に薬剤を投与するデバイスとして

- ・ジーラスタ皮下注ポディーポッド
- ・ヴィアレブ皮下投与システム

などといったものもあります

電極一体型ホルター心電計

MRI: × (不可) X線検査: × (不可) 破損・誤作動の恐れあり

世界最薄・最軽量クラス*のコンパクトサイズ。
ホルター心電計の常識を覆します。

*2023年8月1日現在

電極一体型ホルター心電計

Heartnote®

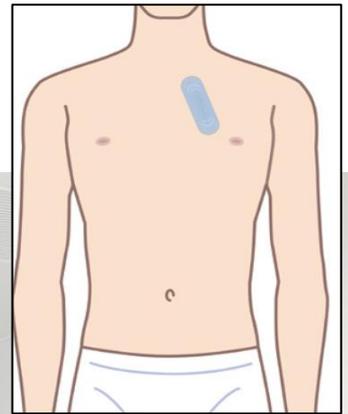
30mm×100mm、薄さ5mm、重量わずか12g。

ホルター心電計をコンパクトサイズに凝縮しました。

取り扱いも容易で、装着しても普段と
変わらない生活が送れます。



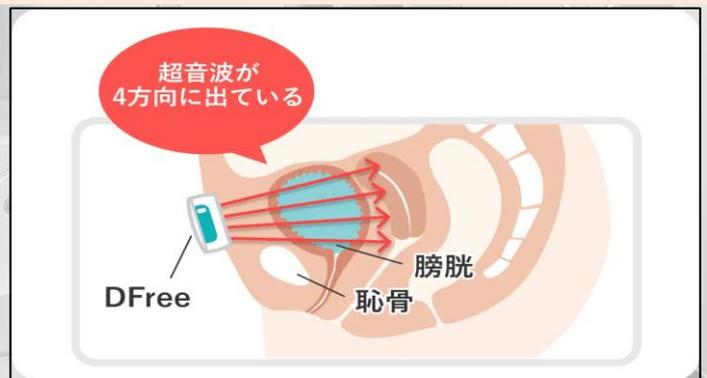
ピッタリ!
貼るだけの
手軽さ!



こちらはコードレスで計量、コンパクトなホルター心電計です。
装着することで1日という長時間にわたり心電図の記録が可能であり、
通常的心電図検査では記録困難な疾患の早期発見・診断に有効なデバイスです。

排泄予測デバイス

MRI: × (不可) 破損、火傷、誤作動の恐れあり
X線検査: ○ ただし検査の妨げになる場合は外す必要あり



高齢の方や様々な障害によって排尿のタイミングが分からない方が使用する物で、
下腹部に装着することで超音波が膀胱内の尿の溜まり具合を計測し
排尿タイミングをお知らせしてくれるデバイスです。

ご紹介は以上となります。

記載の通り、今回ご紹介した物の中にはMRIだけでなく

放射線検査の可不可にも関わる物が多数あります。

画像検査を受けられる際、お心当たりのある方は事前にお声かけ頂けますと
スムーズに検査を進めることができますので、気軽にお申し出下さい。

ご予約・お問い合わせ地域医療連絡室 (JUNC) まで

※12歳以下の造影検査を希望される場合は当院小児科へご紹介ください。

現在の予約状況 (緊急検査は随時対応致します)

《CT》 **即日対応可** 《PET》 翌平日対応可

《MRI》 **約10日以内** 《放射線治療》 **随時受付中**



0120 - 107 - 352

受付時間 8:30~19:00 (月~金)
8:30~13:00 (土) ※日祝日は休み